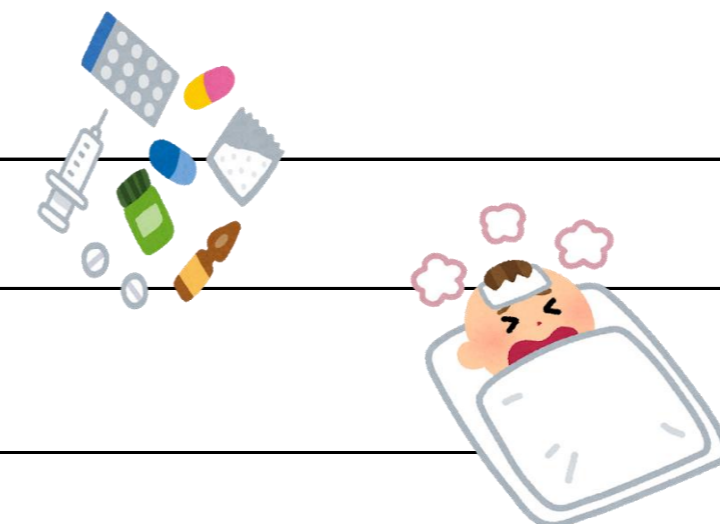
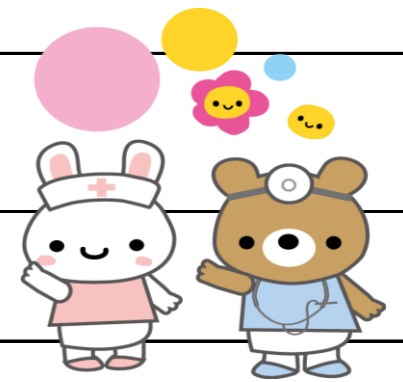


気管支炎の治療を受けられる患者さんへ

様

	入院当日(1日目)	急性期(入院2~3日目)	回復期~退院日(入院4~5日目)
	月 日()	月 日()	月 日()
目標	脱水、発熱、咳や鼻汁などの呼吸器症状が改善する	食欲がでる機嫌良く遊ぶことができる	輸液の必要がなくなる呼吸器症状が改善し退院することができる
安静度	室内安静となります病室内でお過ごしください		
食事	年齢に応じた食事ですアレルギーがある場合は問診表に記入してください必要に応じて栄養士が対応します 食欲がなく、摂取量が少ないときは希望に応じて食事内容を変更しますのでお知らせください		
清拭	1日1回は温かいタオルで体を拭き、着替えをします(発汗時や更衣が必要な時には、随時看護師にお知らせください) オムツを使用している場合は、陰部洗浄も行います(陰部洗浄の方法については看護師が説明します)		
排泄	特に制限はありません点滴をしているので、尿の回数が多くなります抗菌剤を使用している場合、便が緩くなることがあります		
検査(処置)	症状に応じて必要時に血液、尿、レントゲン、喉や鼻の中の病原体の有無を調べる検査をします	症状に応じて追加で血液、尿、レントゲンなどの検査をする場合があります	退院前に血液検査やレントゲン検査などを行う場合があります
注射	1.点滴の開始 24時間点滴を行います 2.抗菌剤の点滴/静脈注射 1日3回(6時・14時・21時)に、抗菌剤の注射をします 病状によっては、抗菌剤の投与をしないことがあります 3.症状によってはステロイドの注射をおこなうことがあります	看護師が点滴の針や固定の確認をします 4日に1回は点滴の固定のテープを外して交換をします 点滴が落ちにくい時や、針が抜ける可能性がある時、またその他の状況に応じて必要であれば貼り替えさせていただきます (生後3ヶ月未満の患者様は毎日交換させていただきます)	主治医の指示で点滴の投与が不要になれば、中止します
内服	症状に応じて内服薬があります(食事前に服用) 看護師が、朝食前、昼食前、夕食前にお薬を1回分づつお配りします 嫌がって飲めない場合などは、看護師へお知らせください		退院後も服用が必要な薬がある場合は、薬剤師から説明があります
吸入	1日4回吸入をします。(朝食前、昼食前、夕食前、眠前)吸入後に、鼻かみができない場合は看護師が吸引を行います 咳がひどくて眠れないときや、鼻水が詰まって苦しそうなときも随時で吸入や吸引を行います		
酸素	呼吸状態の観察をおこなう機械を、手指や足に装着する場合があります 息が苦しそうな時は、酸素吸入をおこなう場合があります		
解熱剤(熱冷まし)	高熱時(38.5℃を目安)に解熱剤を使用することがあります 3ヶ月未満の乳児は解熱剤は使わず、氷枕で対応させていただきます		
看護援助	定期的に状態の観察、検温を行います身体を拭いたり、着替えのお手伝いをさせていただきます プレパレーションで、吸入・吸引・内服についての説明をさせていただきます分からないことや、困ったことなどがあれば看護師に伝えてください		
説明	主治医が病状、検査について説明します 看護師が入院中の生活について説明します 必要時、薬剤師、管理栄養士がお薬、食事について説明します	主治医が適宜、経過(病状、検査結果など)について説明します	主治医が検査の結果、今後の方針、次回受診等について説明します 看護師から退院療養計画書をお渡しして、退院後の生活について説明します



なお、患者様の状態に応じて予定が変更になる場合があります
ご不明な点がございましたら、お尋ねください



主治医() 看護師() 薬剤師()

北播磨総合医療センター 小児科